

# 丹邱学舎



令和2年10月5日(月)発行 校長 川崎 朗

志をもち、自ら学び、共に高め合い、遅く生き抜く西溪っ子の育成

## 晴天のもとすばらしい体育大会になりました！

9月19日(土)に本校第4回体育大会を開催しました。前日までの雨で心配しましたが、当日はすばらしい晴天で、絶好の体育大会日和となりました。

8:40の選手入場、赤団、青団ともに力強い入場行進で体育大会のスタートとしてすばらしいものとなりました。開会式では、私から「戮力協心(りくりよくきょうしん)～チームで助け合い、楽しみながら、最後まであきらめない体育大会にしよう!～」のスローガンのもと、全員が一つひとつの競技に全力を尽くして、みんなが楽しかったと思える体育大会にしてほしいという思いを伝えました。その後の選手宣誓では、赤団山口大心団長、鈴木美空副団長、青団田淵和志団長、藤田真央副団長の4名が力強い誓いの言葉を述べてくれました。本年度は、コロナ渦の中の体育大会ということで、1年生から4年生までの低学年児童は午前中までの参加ということにしました。また、保護者の皆様にも、午前中はできるだけ低学年の保護者を中心に応援に来ていただき、午後には5年生以上の中学年・高学年の保護者の皆様に応援に来ていただくようお願いをしていました。皆様のご協力のおかげで、三密になる事もなく、スムーズに体育大会が運営されました。

午前中は学年に応じて走る距離をかえた徒競走、低学年のダンスや技能走、中学年以上の長縄跳びや全校児童生徒による西溪会種目が行われました。また、午後からは5年生以上全員による応援合戦や全員リレー、各学年で工夫を凝らした団体競技などを行いました。

「みんなが楽しかったと思える体育大会」と言ったとおり、全員が笑顔にあふれながら一生懸命に取り組む姿は本当にすばらしいものがありました。

コロナ禍の中でも、単にしないという選択をするのではなく、できるだけ工夫をしながらできることをしようと職員間で話をしていましたが、各学年ともに、三密にならないように工夫しながら、すばらしい競技をすることができたと思っています。

今回の体育大会を通じて、いろいろな創意工夫をすることでできることがたくさんあると言うことを改めて実感することができ、今後とも、「ウィズ・コロナ」の中で学校としてできることを模索しながら、取り組んでいきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、体育大会の開催については御配慮いただき、本当に感謝申し上げます。10月にも中体連の新人大会や文化発表会などの行事があります。今後ともよろしくお願ひします。



両団団長・副団長による選手宣誓



9年生100m走



1～4年生のダンス



1・2年生の玉入れ



5・6年生のデカパンリレー



9年生の団体リレー



青団応援合戦



赤団応援合戦

## いよいよ10月、1年間の振り返り地点です！

いよいよ10月、令和2年度の学校生活も振り返り地点となり、残り半分となりました。今年度は4月から新型コロナ感染拡大に伴った臨時休校があり、それに伴って、1学期の学校行事が延期になったり、夏休み期間が短くなったりするなど、例年とは違う年度の前半でした。本年度の学校生活もいよいよ後半となります。各学年共に、もう一度4月に立てた自分たちの学年の目標を確認して、気持ちも新たに残り半分の学校生活に取り組んでほしいと思います。学年の目標は1年間の自分たちのゴールです。そのゴールに向かって残り半分の学校生活を送ってほしいと思います。後半にもたくさんの学校行事がありますが、大きなものだけ紹介すると、以下に示すとおりです。



- 10月：6年生修学旅行 小城多久地区中学生新人大会 文化発表会
- 11月：9年生進学説明会 前期論語検定 校内論語カルタ大会 後期期末テスト  
スクールコンサート（1・3年） 9年三者面談
- 12月：佐賀県学力学習状況調査 西溪会会長選挙 9年三者面談 6年部活動体験
- 1月：国際交流活動 4年2分の1成人式 7年立志式 私立高校前期入試
- 2月：6年ありがとう集会・保護者会 私立高校後期入試 県立高校特別選抜
- 3月：県立高校一般選抜 第4回卒業証書授与式 令和2年度修了式

後半の行事には、次の学年に向けてのステップアップをするための行事がたくさんあります。4年生の2分の1成人式、7年生の立志式などは低学年、中学年からそれぞれ次に向かう節目の行事です。6年生のありがとう集会も後期課程に向かう6年生を送るものです。そして、3月の卒業式は9年間の義務教育を終えて次に向かって巣立っていく9年生のための式です。しかし、これは9年生だけでなく、すべての児童生徒にとっての自分の未来の姿でもあるのです。卒業に向けて取り組むことと同時に、9年生はこれから、私立高校や県立高校の入学選抜にチャレンジしていきます。これは自分の卒業後の人生を自分の力で切り拓く大切なことです。9年生は悔いを残さないよう全力を尽くすと共に、下級生も9年生を見ながら自分の未来の姿を考え、成長してくれることを期待しています。